

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	23512
事業名	市有施設の省エネ等推進費					
評価担当課	所 属	環)環境都市推 環境エネルギー			電話番号	011-211-2872
施策名	脱炭素社会の早期実現に向け、更なる省エネルギー化に加え、北海					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	札幌市気候変動対策行動計画では、市有施設における温室効果ガス排出量を2030年度までに(2016年度比で)60%削減する目標を掲げており、その達成に向けて、市の事業活動に伴う環境負荷の低減に率先して取り組んでいく必要がある。
	事業内容(何を実施し)	<事業内容> ・札幌市環境マネジメントシステム(EMS)の運用管理 各施設のエネルギー使用量の集計や取組結果をEMSレポートとして公表するなど、EMSの運用管理を行う。 ・電力見える化機器を導入した市有施設に対する、効率的なエネルギー利用の促進・節電取組の推進 電力見える化機器導入済の市有施設200施設について、電力使用状況の監視や分析を行うことで各施設の効率的なエネルギー使用の支援を行う。 <活動実績> ・各施設のエネルギー使用量の集計や取組結果をEMSレポートとして公表するなど、札幌市環境マネジメントシステムの運用管理を行った。 ・電力見える化機器導入済の市有施設200施設について、引き続き各施設の効率的なエネルギー使用の支援を行った。また令和5年度(2023年度)に追加で電力見える化機器を市有施設45施設へ導入した。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	2050年ゼロカーボンを達成するために、札幌市役所が率先して省エネルギー及び再生可能エネルギーの転換を進めることで民間企業や市民への波及と温室効果ガス排出量の削減を行う。
	他都市の状況	東京都では都有建築物の改築時にデマンド監視装置を設置するよう仕様に定めている。高知県では県有施設約160施設のうち109施設へデマンド監視装置を設置。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	14,738 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.9 人工
令和5年度予算額	18,200 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.9 人工
令和5年度決算額	17,158 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.9 人工
令和6年度予算額	18,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.9 人工

指標	アウトプット活動指標1	エネルギー使用量の前年度比削減率				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		1.25%	1%	11.8%(予定)	1%	1%	1%
	↓						
	アウトカム成果指標1	設置済施設での電気使用量削減率(2016年度比3%減を維持)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		-2.40%	3%	-1.6%(予定)	3%	3%	3%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	今後も、日常的な省エネ・節電の継続や見直しに取り組む。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	成果指標について、近年は新型コロナウイルス感染症対策としての空調等の使用量が増加傾向である。今後も、日常的な省エネ・節電の継続や見直しに取り組む。					

今年度の見直し内容	電力見える化機器の設置施設の見直しを実施し、さらなるエネルギー使用量の削減に努める。
来年度以降の方向性	・電力見える化機器の設置施設に対してフォローアップを継続的に実施 ・EMSデータでエネルギー使用量が増えている施設への使用量低減の提案や、新たな技術の導入を検討